

科目区分	基礎分野	授業科目	教育学
講師	非常勤講師	実務経験の有無	
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	人間は全人的教育を通じて、真の人となることができる。そして、真の人となるべく真、善、美、聖の価値観を学ぶ心情、意欲、態度を陶冶してこそ、人間の命の看護及び心の教育を看護師の立場で成し得ると考える。その視点に立って本講義内容は展開される。		
目的：教育学の理論と技法を体系的に学習することを通して、看護現場で活用することのできる基礎的能力を養う 目標：1. 教育の意義と目的、歴史と思想について広い視野で理解できるようにする。 2. 真の人間観とその精神的成長並びにそれを可能にする学習についての思想と実践を学び、患者理解へとつなげることができる。 3. 教育学における理論と技法を批判的に検証し、患者が社会への主体的な復帰を図る看護に活用することができる。			
回	授 業 内 容		
1	第1 教育学序説—いのち輝く教育を再び— 1) 人をしあわせにする教育とは何か：素直な生き方に学ぶ 2) 感性教育の重要性：人間的呼応関係性を支えるもの 3) いのちに関わる教育の態度と在り方		
2	第2 世界の教育はどうなっているのだろうか 1) フィンランドの教育が注目されている理由—宿題のない学校とは？ 2) フランスの学校での食育はレストラン並みなのは、なぜだろう。 3) 教育があなたの人生のイメージを変えていく。		
3	第3 ドクター・パッチ・アダムスの思想と行動に学ぶ I 1) 人間の中に飛び込む勇気と人間通になる学び		
4	第4 ドクター・パッチ・アダムスの思想と行動に学ぶ II 1) 全人教育の場としての環境の改善と教育的関わり		
5	第5 ドクター・パッチ・アダムスの日本訪問のエピソードに学ぶ		
6	第6 看護師としての心と身体の学び—クリエイティブ・ムーブメント I		
7	第7 看護師としての心と身体の学び—クリエイティブ・ムーブメント II		
8	第8 人をしあわせにする他者への関わりを考える 1) 短期記憶障がい者に対する人間的関わりを通して学ぶ愛の諸相		
9	第9 人をしあわせにする他者への関わりを考える 1) 患者にとって人間としての幸せをもたらすものは何かを考える		
10	第10 日本における現行法の教育目的と教育目標—この国の将来を担う教育とは—		
11	第11 学習指導における基本的原理—生きる力を誘導する方法とそこでの学びとは何か—		
12	第12 生活指導—生活を陶冶することの本当に意味—		
13	第13 いのち輝く教育の保育・教育思想—夢の国の住人としての子供の世界を保証する—		
14	第14 高度情報社会における批判的教育の在り方—全人教育論を検証してみる—		
15	第15 看護師として現場で生きるための教育学を総括する(終了試験含む)		
講義方法	講義・クリエイティブ・ムーブメントはクラス別の可能性、VTR、15回目に試験を行う		
参考文献	『現象学的人間論と看護』ベナー/ルーベル、医学書院 『全人教育論』小原國芳、玉川大学出版部 『教育哲学』高山岩男、玉川大学出版社		
評価方法	試験結果 70%、レポート提出 20%、受講態度 10%		
テキスト	講義で資料を配布する。		
備 考	既習関連科目：成人看護学概論、小児看護学概論		